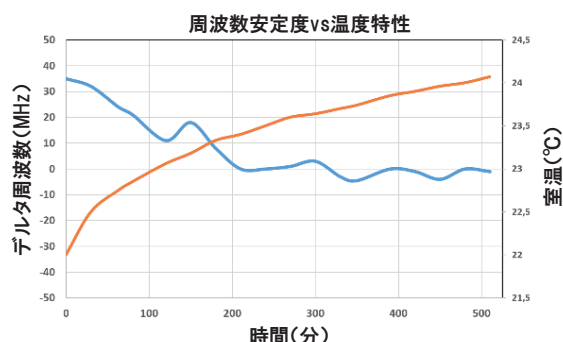
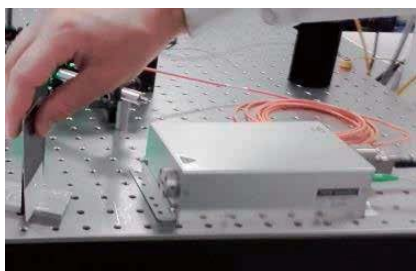




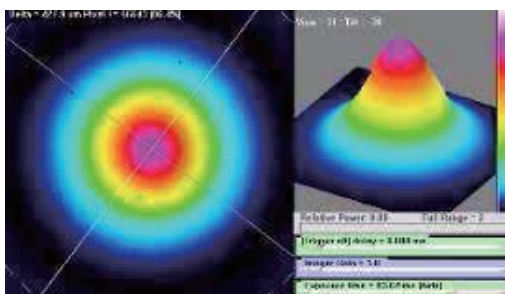
## ALS 355 CWファイバーレーザー 30mW

### MOPA(主発振器出力増幅器)構造を搭載したファイバーレーザー

単一周波数で超低ノイズ、高い出力安定のIR(赤外)ファイバーレーザービーム(1064nm)の第三高調波発生(THG)



上記のグラフは、ALS-BIレーザーの長時間における周波数安定度を示しています(青線:周波数MHz、赤線:室温°C)。中心周波数の安定性 及び ビーム位置安定性に関して、ホログラフィーをベースとする産業分野ではアルゴンレーザーの置き換えニーズに唯一対応した製品として承認されました。

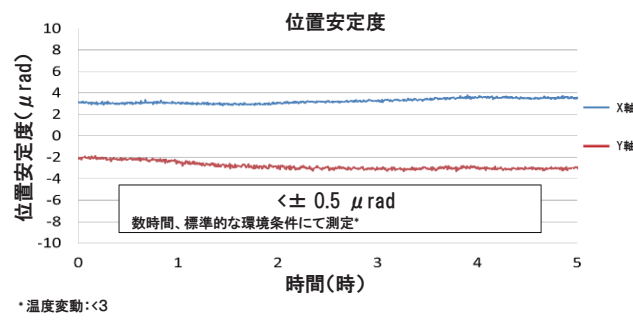


ALSレーザーは、シングルモードファイバーの構造のみを採用しており 高安定で優れたビーム質の単一空間モードを実現しています。  
典型値:M2 < 1.2

制御 - 測定用  
ガスレーザー置き換え  
フォトルミネッセンス / ラマン  
バイオフィotonics  
フローサイトメトリー  
デジタルホログラフィー

### 主な特徴

TEM<sub>00</sub>モード  
長いコヒーレンス長  
M<sup>2</sup><1.2  
単一周波数  
低ノイズ  
優れたビーム位置安定性  
優れた出力安定性  
高い偏光比と安定性  
非冷却式レーザーヘッド  
コンパクト設計  
メンテナンスフリー - 長寿命  
低消費電力  
OEMにも対応



上記グラフは、標準で用意されているALS-BL-355 レーザーのビーム位置安定性を示しています。中心周波数の安定性 及び ビーム位置安定性に関して、産業分野ではアルゴンレーザーの置き換えニーズに唯一対応した製品として承認されました。

## 内部にシーダーを含む 355nmファイバーレーザー

波長 <sup>(1)</sup>	355 ± 0.5nm
出力	30 mW
出力可変	10 ~ 100%
ビーム質	M <sup>2</sup> < 1.2
ビーム径(自由空間出力)	< 0.7 mm
ビーム拡がり角(半角)	< 0.6 mrad (FW@1/e <sup>2</sup> )
空間モード	TEM <sub>00</sub>
スペクトル線幅 (単一周波数発振) <sup>(2)</sup>	< 10 MHz
出力安定性	短時間 < ± 0.5 % 8時間以上 < ± 1%
ノイズ(100Hz - 10MHz) (単一周波数発振)	< 0.3 % rms
周波数安定性 <sup>(3)</sup>	< 0.1 pm
出力偏光	直線 > 100 : 1
ビーム位置安定性	< ± 20 μrad/°C
出力	レーザーヘッド部で freespace 出力
レーザー制御	マルチターン・ポテンシオメータ/タッチ・スクリーン/アナログ電圧
電源要件	90-240V/50-60Hz
消費電力(W)	150 < ... < 300 W
冷却方式	空冷

- (1): ご要望により他波長も対応可能  
 (2): レーザー内部の標準的なシーダーに基づく  
 (3): 単一周波数発振のみ対応。8時間以上、周辺温度変化が<3°Cで測定

## 寸法

レーザーラック	480 x 460 x 130mm
レーザーヘッド	170 x 120 x 50mm



ラックとレーザーヘッドからのビーム出力部間の  
 ケーブル長: 約 1.35 m  
 非冷却式レーザーヘッド  
 THG温度コントローラ  
 空冷式電源ユニット - 横幅: 19インチ(482.6mm)  
 高さ: 3U(5.25インチ/133.35mm)



ご要望により、ビーム出力方式にカスタム対応致します